
開講科目名：民法研究（A）（2単位）
開設年次：1年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：濱口 弘太郎

《授業の概要》

【授業の概要】

財産法（主に、民法総則・物権）領域の重要な論点を取り上げて検討する。民法の基礎理論を再度確認し、判例・事例研究を行うことで実務対応能力を身につけることを目的とする。

【授業の内容】

- 第1回 ガイダンス・民法入門～どうして、契約に、国家が介入するのか～
- 第2回 意思主義～なぜ、契約を守られなければならないのか～
- 第3回 強制執行～契約を守らない人は逮捕される？～
- 第4回 成年後見制度～あそこのおじいさん、ぼけちゃったけど大丈夫かな？～
- 第5回 代理概論～契約をしたのは中村さん。佐分さんに責任を取ってもらえる？～
- 第6回 無権代理～佐分さんの息子が父親の代理人だということで、契約したけど、実は違ったらしい～
- 第7回 無権代理と相続～息子が父親の代理人ということで、契約したけど、実は違ったらしい。でも、父親が死んでしまった。これなら、何とかなる？～
- 第8回 法人～会社が倒産した。社長の責任は？～
- 第9回 所有権の意義・物権的請求権～近道だ。誰の迷惑になるわけでもないし、空き地を通らせてもらおう～
- 第10回 意思主義・対抗要件主義～所有者になりたい。でも、どうすればいい？～
- 第11回 不動産登記～どうしたら、登記してもらえる？ 費用は？～
- 第12回 区分所有権～マンションに住んでいる。マンションの廊下は誰のもの？～
- 第13回 抵当権～家屋敷を抵当に入れてしまった。もう、自分のものじゃない？～
- 第14回 先取特権～勤務先が給料を払ってくれない。何とかならない？～
- 第15回 所有権留保・譲渡担保～車を買った。車検証を見ると、所有者のところに、ローン会社の名前が書いてある～

【成績評価】

授業への参加状況・発言状況(30%)およびレポート(70%)で、評価する。

【予習及び復習】

この授業は、後期開講の「民法研究（B）」と合わせて、僅か4単位で、民法（財産法）を扱うものである。時間の関係上、授業中に、前提知識を伝えることや振り返りを行うことはできない。授業は、予習及び復習がなされていることを前提に進行する。すでに大学の法学部で民法を学習したという前提で、各授業ごとに、予習及び復習には、それぞれ2時間ずつを必要とする。

【質問への対応】

質問には、授業終了後またはオフィスアワーにて、対応する。

【レポート等のフィードバック】

レポートの結果については、評価に関する疑問等申出期間において対応する。

《テキスト》

道垣内弘人『リーガルベシス民法入門』（日本経済新聞社、第2版、2017年）

《参考書》

道垣内弘人『リーガルベシス民法入門』（日本経済新聞社、第2版、2017年）